

学園だより

発行 学校法人
 ノートルダム清心学園
 清 心 中 学 校
 清 心 女 子 高 等 学 校
 倉敷市二子1200
 ☎701-0195
 TEL(086)462-1661
 FAX(086)463-0223
 URL <http://www.nd-seishin.ac.jp>

編集 広報 部



2012年度 本校はユネスコスクールへ加盟

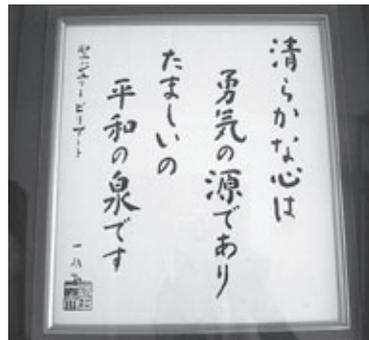
吹く風の冷たさも日増しに和らぎ、校庭の木々にも春の訪れが感じられるこの佳き日に、ご来賓の方々、保護者の皆様をお迎えして、清心女子高等学校第六十五回卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより在校生、教職員にとりまして、大きな喜びでございます。保護者の皆様方には、3年、または、6年の長きにわたり、本校の教育に対して心温まるご協力、深いご理解とご支援をいただき、心からお礼を申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんが、本校の所定の教育課程を無事修了し、卒業の日を迎え

必要なことを見極める力

校長 Sr. 小谷 恭子



中学校玄関にある額縁

ることができましたことは、一人ひとりが三年間、たゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であることは言うまでもありません。その努力に対し、心から拍手を送ります。

皆さんは、希望に胸を膨らませ、6年間、あるいは3年間「心を清くし、愛の人であれ」の校訓のもと、学習や学校行事、生徒会活動、部活動に励み、級友や仲間たちとの友情を育み、充実した学校生活を過ごしてきました。振り返って見れば、決して平坦な道ばかりではなく、つまずいたり悩んだりしたこともあったと思いますが、その一つひとつが清心学園での貴重な体験として、これからの人生の糧となることでしょう。

皆さんが入っていく社会は、今、大きく変わろうとしています。国際関係、経済問題、また著しく進



中学校玄関にある聖ジュリーと子ども

歩した科学技術、日常生活に浸透しているメディアなど、皆さんが主体的に、自分のこととして取り組みねばならない課題が山積しています。その中で自分を生かし、幸せな生活を送るには、広い視野をもって何が必要であるか見極め、勇気を出して前進し、忍耐強くその時その時の答えを自分で出していかねばなりません。

「神様は、乗り越えられない試練はお与えにならない。」ということばを心に銘記して新しい生活を始められるよう願います。

ノートルダム清心学園での充実した日々が、これから皆さんの支えとなり、在校中と同じく、聖母マリアが皆さんのそばにいて、支え、励まして下さることを願って、卒業生を送る言葉といたします。

三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

いつも先頭に立って私達後輩を引っ張って下さる先輩方の姿を見ることができなくなるのは、とても寂しいです。時には優しく、時には厳しく指導して下さいる先輩方には誠に感謝しております。

ご卒業され、それぞれの道に歩まれますが、時には清心学園を思い出して足を運んでみてください。大学に進まれても頑張ってください。今まで有難うございました。



高校生徒会長 鶴海 莉子

先輩方、ご卒業おめでとうございます。

入学当初から、私達を優しく気遣い、困っているときにはさうと手を差し伸べて、私達をいつも支え続けてくださいました。

部活動や委員会など様々な場面で支えてくださり、先輩の偉大さを改めて実感し、先輩の背中を見て成長することができました。私達も春からは学年が上がります。先輩方のように後輩を支えられる存在になれるよう、頑張りたいと思います。

今後の先輩方のご活躍を、心からお祈りしております。



中学生徒会長 西井 はるか



卒業に寄せて

高校卒業生 保護者

三宅 恵美

期待と不安を胸に臨んだ入学式、満開の桜が本当に美しかったですね。

自然に恵まれた素晴らしい環境の中、親身に指導してくださった先生方との三年間は、清心学園の校訓「心を清くし愛の人であれ」を基に、勉強だけでなく、様々な体験を通して、目標に向かって努力することの大切さ、やり遂げた達成感、そして奉仕の心や相手を思いやる心の学びが、大きくまっすぐに成長する事ができました。

また、一緒に過ごした友達との友情は、学園生活の数々の思い出とともに一生の財産になることでしょう。これから先それぞれに進む道は違っ

てきます。愛情に包まれ、守られていた今までは経験したことのない困難や悩みにつづかっても、「神は力に余る試練を与えない」と自分を信じ、自分の良心の声に従って行動し、目標に向かって進んで欲しいです。

高3学年主任

石井 美香

ご卒業おめでとうございます。真新しい制服姿が印象的だった入学式から、早くも三年の月日が経ちました。板に付いたその姿とも今日でお別れかと思うと、様々な思いがこみ上げてきます。

日々の授業や様々な行事、毎日の学園生活の一つ一つが今となっては掛け替えの無い大切な宝です。中でも最も思い出深いのは三年次の体育祭のダンスです。二年次の後半から各クラスのダンス委員が中心となり、半年以上をかけて取り組んでいました。体育の授業だけでなく、自主的に放課後も教室や廊下のあちこちで仲間同士で振り付

けを教え合う姿を見かけました。そして迎えた本番当日、演舞後には、一つのこと力を合わせてやり遂げた喜びの笑顔がグラウンド中に溢れました。本日皆さんは新たな人生のスタートを切ります。これからの人生は決してきれいなもの、美しいものばかりではないでしょう。時には汚れた醜いものに出会うこともあるかもしれません。「心を清くし、愛の人であれ」という校訓を心に、それを皆さん自身で美しいものにしてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様には、これまで賜りました多大なるご理解とご協力に感謝申し上げます。共に、皆様のご健康とご多幸と、卒業生の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

「感謝と愛の心」を忘れず、まわりの人もそして自分自身も大切にできる人になってください。そしていつかあの美しい桜の下、今度は自分の娘の入学式で旧友と再会できるのも素敵な未来ですね。最後になりましたが、校長先生をはじめご指導いただいた先生方、お世話になった事務の方々に感謝するとともに、清心学園の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



中3 記念館前で集合写真



高校3年間を総まとめした体育祭でのダンス

中3生徒 保護者

永山 聖美

美しく輝く聖堂と先生方の優しい笑顔に祝福された入学式。

「清心学園でなら、きっと娘は心豊かに学べる。」そう感じた事に間違いはありませんでした。

この三年間、創立者マザー・ジュリーの「心を清くし、愛の人であれ」という教えのもと、様々な宗教学行事や奉仕活動を経験する中で、すべての人の尊さに気付き感謝と奉仕の心を育てる事が出来ました。その経験で学んだ精神は、娘たちが夢に向かいたくましく前進して行く支えとなるのではないかと思います。

中3学年主任

加村 佳子

成長した皆さんへ 生徒の皆さん、義務教育修了おめでとうございます。

皆さんが、この清心中学校に入学し、はや三年。本時に時が経つのは早いものです。

覚えていきますか？入学式の日のことを。目をキラキラ輝かせ、期待と少しの不安を抱き皆さんは清心学園の一員となったのです。あの清心学園の一員となった一日目の皆さんの様子が今でも目に浮かび、とても懐かしく感じられます。

中学校生活では、たくさんの行事がありました。中1では玉野のオリエンテーション。新しい友達がたくさんで

入学当初からまだまだ幼かった娘たちは色々な問題に直面しました。そんな娘たちの心にも寄り添い、諭し、励まし、良い方向に導いてくださった先生方には、本当に感謝しております。

先生方の温かいご指導のおかげで、娘たちはすくすくと明るく成長致しました。高校生という新たなステップを登り歩んで行く娘たちは、進路に悩んだり、挫折に苦しむ時もあるかもしれませんが、清心中学校で学んだ誇りと自信を胸に乗り越えて行ってくれと信じています。

最後になりましたが、清心学園の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。まして、御礼の言葉とさせていただきます。

きましたね。中2では、林間学校、タプロローなど大きな行事が次々とあり、それを一つずつ成功させていった皆さんは随分とたくましく成長していきま

した。中3では、オーストラリアの海外研修。異国の文化に触れると同時に語学も学び、ここでもまた皆さんは前進することができました。

このような三年間の中学校生活は皆さんにとって、決して楽しいことばかりではなかったと思いますが、一番努力したのは、きっと自分自身です。ご家族の支え、友達の言葉にもとても励まされたことと思います。よく努力しました。

保護者の皆様、本当に三年間ありがとうございました。無事に中学校生活を終えることができるのも保護者の皆様のおかげです。

保護者の皆様、本当に三年間ありがとうございました。無事に中学校生活を終えることができるのも保護者の皆様のおかげです。



SSH第2期2年目

統括教務部長 室山 龍三

第2期のSSHは学校外の機関との連携を一層強めながら、女子の理数分野の才能をより伸ばすとともに、理数教育の裾野をより広げることを目的とし、今、2年目を終えようとしています。

研究レベルの点では、今年も数々のコンテストで入賞しました。いくつか挙げると、日本学生科学賞では昨年のカメの研究に続き、デンジソウの研究が県知事賞に輝き、全国の中央審査に進みました。また高校生科学技術チャレンジ(JSEC)ではサンショウウオの研究が全国ベスト10に相当する審査員奨励賞を受賞しました。文理コースでも植物油の酸化の研究が、岡山大学での科学チャレンジコンテストで科学大賞を受賞しました。

一方、裾野拡大の点では、課題研究が中学3年生まで広がりました。中3グループは一月の科学チャレンジコンテストで発表し、科学プレゼン賞を受賞しました。また筑波大学の「科学の芽コンテスト」論文審査で努力賞も受賞しています。

大学4年生を始めとして多くのSSH卒業生が大学で勉強しています。彼女たちに、在学中のSSH活動が大学の勉強にどの程度影響しているかアンケートをとった



「ひとつまみは何グラム？」(中3課題研究)

ところ、各活動とも概ね70〜90%の人が有効に影響しているとし、特に課題研究については97%が影響していると答えました。仮説を立て、実験で予想したデータを集め、成果をまとめて発表するという経験は、未経験の他校出身の人に比べて大変有利です。またグループで課題研究に取り組む中で、実験や観察を続ける粘り強さや、友達と助け合う中で協調性が身に付きます。課題研究は大変なことでもあります。山登りと同じで、人に頼れない分、やり遂げた時の達成感はその後の生活の大きな自信となることは間違いありません。

- * 私は音楽会実行委員長をして、友達や後輩と力を合わせて一つのことに取り組むことの素晴らしさ
- * を学びました。短い間でしたが、委員長を最後までやれたのは他の実行委員や先生方の支えのおかげだと思います。
- * 本当にありがとうございます。
- * どうございませう。



中3Aによる発表とパフォーマンス

- * 今年、中学3年生は新たな取り組みに挑戦しました。テーマである「愛」を表現するため、本物のキャンドルを使用しました。一人ひとりが世の闇を照らすことができるように、祈りを込めてイエス・キリストの「世の光」を表現し、灯したローソクの光と温もりとともに、愛を込めた歌をみなさまに伝えることができました。ステージの発表とは違い、隣同士離れて歌うことになり、お互いの存在を心で感じ、心を一つに合わせるといっても素晴らしい体験をしました。これからの生活の中で出会う人々と、心で接することができる女性へと、成長していったと思います。
- * 中1学年主任 松本 浩和
- * 中1は雰囲気づくりを担当しました。記念館の両側を飾ったステンドグラスは、美術の時間だけでなく、放課後も残って懸命に作りあげました。自分たちが聖書のどの場面を担当したのか、また、作りあげる際に努力したところやこだわった部分を、クリスマス会準備中に学年全体発表会をして、みんなでわかちあいました。
- * また、3人のグループでクリスマスの起源やキリストの誕生など調べた成果を画用紙にまとめ、クリスマス会に来られたお客様に見ていただきました。これらの活動を通して、クリスマス会の本当の意味を実感することができました。

音楽会を終えて

中学校音楽会実行委員長 藤田 彩乃

クリスマスの取り組み

中3学年 中村 雄士

クリスマス会のイエス・キリストの降誕劇(タブロー)では、各クラスから数名が実行委員に名乗り出てくれました。何度もミーティングをして脚本、配役、演出などをすべて自分たちで決めて学年に下ろしました。その意欲が生徒達に伝わり、係や役者を決めるところから熱心に取り組み、人数が多いところは自分たちでオーディションをして決めていました。衣装や大道具・小道具の係も、工夫を凝らして、各場面をクオリティの高いものにしてようとして放課後に残って準備をしました。

中2学年主任 森 茂樹



ヘロデの宮殿の場面 (中2タブロー)

このように、キリスト降誕のメッセージを観客に伝えることを目的にして、手作りの劇を作り上げていきました。フィナーレでいただいた拍手で、生徒ひとり一人の笑顔があふれました。協力してものを創造する喜びを感じることが出来たことでしょう。また、クリスマスに向けてのプレゼントに、刺繍入りの布巾を作り、この一年間でお世話になった施設や関係者の方に贈らせていただきました。

生徒会活動報告



中学生徒会副会長
長塚 文香

私たち中学までしこ生徒会は、10月から活動を始めました。11月から12月にかけて、ユニセフの「ハンド・イン・ハンド募金活動」に参加しました。校内での募金活動に加え、中庄駅での街頭募金を2回行いました。その結果、約5万4千円の募金が集まりました。また、11月から、クリスマスプレゼントを作り、ノートルダム清心女子大学附属幼稚園・小学校に贈りました。クリスマスプレゼントを作ることは、思いのほか難しく苦労しましたが、生徒会のみならず協力して、良いプレゼントが出来たと思っています。今後も、精力的に活動を続けていきたいと思っています。



高校生徒会副会長
行廣 紅里

私たち66期生徒会はこれまでに部活動紹介、文化祭、シスター歓迎会など様々な活動を行ってきました。いちから作り出し、全体をまとめるということは思った以上に大変でした。さらに細かい作業も多く、仕事量の多さに最終下校まで残ることも多かったです。しかし、時間をかければかけるほどみなさんが楽しめるものができたと思っています。笑顔で「楽しい！」と言う声を多く聞くことができ、生徒会一同心より嬉しく思います。先日行われた送別会も先輩方の高校生活の思い出に深く残ることができれば、と思っています。今まで66期生徒会を支えて下さりありがとうございました。

高校2年生の今頃だよね...

進路指導部長 多鹿 暢彦

昨夏、耳にした言葉。「圧倒的基礎(学)力」。姉妹校である広島ノートルダム清心高校「夏期学習合宿」の様子を拝見した際、繰り返し言われていました。では「基礎力」とは何か。教科書の内容です。ただ「圧倒的」とあるようにその内容を細部に至るまで理解し尽くすことが大事なのです。大学入試センター試験の「テスト範囲」が教科書であることを徒然(あたら)かにしてはいけません。「圧倒的基礎力」獲得のために予習・復習、つまりゆるぎない学習習慣を身に付けることが大事です。

この正月、目にした言葉。「毎日なるべくすべての科目を勉強したほうがいい」。森田敏宏氏「東大理Ⅲにも受かる7つの法則」(小学館101新書)に書いてありました。このような文脈です。「学習する」ということは、脳内に新しい回路を作り、それを強化すること」であり「回路には頻回に電気を流したほうが好ましく、万遍なく様々な刺激を与えるのがよいというのです。つまり学習効果を上げるためにも、早々に一部の教科を「捨てる」ことなく、どの科目にも取り組むことが大事なのです。学校の授業内容を消化しきれないままでは推薦(AO)入試にも対応できません。目先の損得で判断せず、大きく将来を見据えてください。「学問に覇道なし」です。

生徒活動実績

〈英語関連〉

- 第2回環太平洋大学杯高校生英語スピーチコンテスト
 - 自作原稿スピーチ部門 最優秀賞 高2C 篠岡 はな
 - 自作原稿スピーチ部門 最優秀賞 高2C 福島 綾菜
 - 教科書暗唱部門 最優秀賞 高2E 藤田真由子
 - ブリガム・ヤング大学ハワイ校 第14回全国高校生英語スピーチコンテスト全国大会
 - 第1位 高2C 福島綾菜
 - 第15回ノートルダム・トロフィー English speech contest
 - 最優秀賞 高2C 福島綾菜
 - 第60回青風杯英語スピーチコンテスト 第2位 高2C 篠岡はな
 - 第6回岡山県高等学校英語スピーチコンテスト
 - 県高校教育研究会英語部会長賞 高2E 藤田真由子
 - 優秀賞 高1D 秋山 慧
 - 高門宮杯第64回全日本中学校英語弁論大会岡山県大会
 - 第5位 中2A 津野瀬そら
 - 第5回岡山山城東高校校中学生英語スピーチコンテスト
 - 第3位 中3A 新谷梨沙子
 - 岡山県第17回英語エッセイコンテスト 第2位 高2C 植木彩香
 - 第8回倉敷市市長杯中学生英語スピーチコンテスト 第3位 中3B 木村佳奈子

〈SSH関連〉

- 朝日新聞社主催 第10回高校生科学技術チャレンジ(JSEC)全国大会 審査委員奨励賞 生命科学コース 第56回日本学生科学賞 岡山県審査員知事賞
 - 高3E 御倉友梨恵 西江麗奈
 - 高3E 中島遙香 藤澤未雪
 - 第9回高校化学ランドコンテスト 審査委員長賞 高2E 澤田春那 小嶋由加里
 - 川井里香 齋 藤恵
 - 田中璃彩
 - パイオ甲子園2012 創立30周年記念奨励賞
 - 高2E 澤田春那 小嶋由加里
 - 川井里香 齋 藤恵
 - 田中璃彩
 - 日本食品衛生学会 金賞
 - 高2E 鶴海郁子 山下元子
 - 高3E 川上未紗 井谷明音
 - 高2E 澤田春那 小嶋由加里
 - 川井里香 齋 藤恵
 - 田中璃彩
 - 高3 大中はずき 増田美華
 - 濱尾萌夏 松崎奈波
 - 第5回科学チャレンジコンテスト
 - 高校の部 科学大賞 高2 岩崎香織 石井詩織
 - 中学の部 科学プレゼン賞 中3A 井関やあめ 大森文恵
 - 中3A 井関やあめ 大森文恵
 - 新谷梨沙子 新谷梨沙子
 - 筑波大学主催 第7回「科学の芽」賞 努力賞
 - 中3A 井関やあめ 大森文恵
 - 新谷梨沙子 石田有沙
 - H24年度 集まれ！科学好き発表会 科学する心賞
 - H24年度岡山県中学校秋季水泳競技大会 女子400mメドレーリレー 第3位 中2 内山智絢 元平夏乃
 - 磯山真穂 渡部七海

平成二十四年度 後援会後期委員会報告

平成25年1月8日本校において、委員42名の方々の出席を得て後期委員会が開催されました。協議報告事項に入り井上会長が議長となり、次のことが決定されました。

- ①バザー収益金について
収益金の使途については、校舎の老朽化が進み改修の必要性が高まっているので「校舎改修整備等助成資金」及び、各種福祉施設・団体への「クリスマス献金」の一部として援助することに決まりました。
- ②卒業寄付について
バザー収益金の使途と同様に「校舎改修整備等助成資金」として援助することに決まりました。

卒業寄付金 126万円
バザー収益金 77万円

お知らせ

2013(平成25)年度 オープンスクール日程表(前期)

中学校 (小学5・6年・保護者対象)	高校 (中学3年生対象)
5月12日(日) 9:30~11:30	
7月20日(土) 9:00~12:00	7月20日(土) 9:00~12:00
8月24日(土) 9:00~12:00	8月24日(土) 9:00~12:00

※中学NELPプレテストは8月24日(土)午後に行います。